

こうち+クロス

高知赤十字病院
広報誌

ご自由に
お持ち帰りください



特集：脳神経外科・頭蓋底手術

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

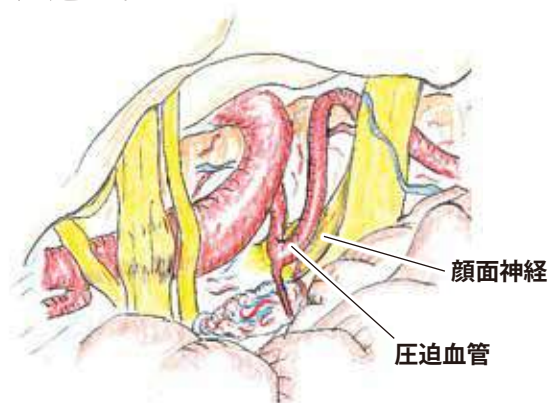
- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の権利が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からないこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。

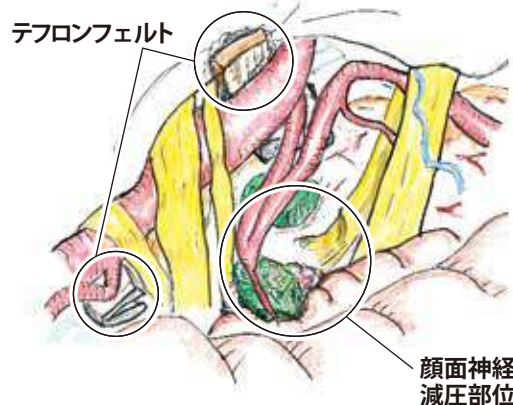
顔面けいれんに対する神経血管減圧術の手術前後のイメージ図

椎骨動脈と後下小脳動脈が顔面神経起始部を圧迫している



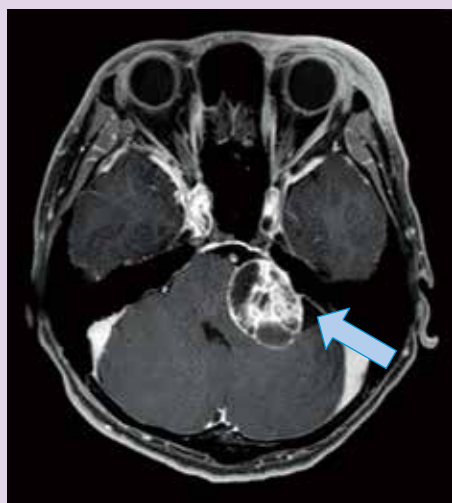
術前

椎骨動脈をテフロンフェルトを用いて減圧し、固定。顔面神経周囲に空間を作成した。



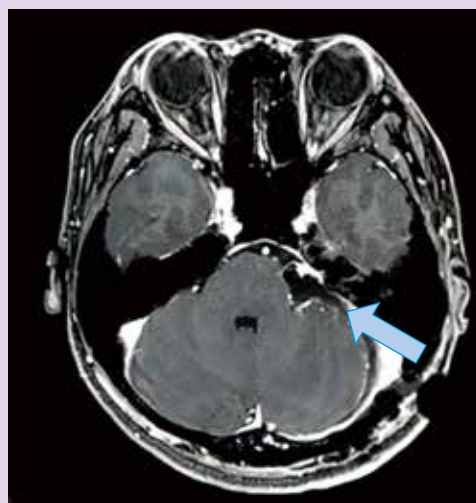
術後

聴神経腫瘍摘出術前後のMRI画像



術前

左聴力低下にて発見された聴神経腫瘍



術後

聴神経腫瘍は全て摘出され、顔面神経麻痺も認めず。



当院では脳卒中、頭部外傷などの救急疾患だけでなく、頭蓋底手術を用いる脳腫瘍や内視鏡による下垂体腺腫の手術、三叉神経痛、顔面けいれんの治療にも積極的に取り組んでいます。その他の脳神経外科疾患でも、可能な限り対応させていただくのでお気軽にご相談ください。

脳神経外科
ホームページ
詳しくはこちら
から



脳神経外科・頭蓋底手術のご案内



2022年4月から、徳島大学病院で脳腫瘍、神経血管減圧術（三叉神経痛、顔面けいれん）に対する脳外科手術を専門としていた溝渕佳史医師が勤務しており、難易度の高い脳神経外科領域の手術も可能となっております。

頭蓋底手術とは

脳の深部にある病変を治療するために、手術顕微鏡や手術ナビゲーション、術中神経モニターリングを用いて、安全に頭蓋骨の一部を削って脳や神経機能を温存しながら手術を行います。深部に病変がある脳腫瘍や三叉神経痛、顔面けいれんの手術の場合、手術手技が患者様のADLに大きく影響します。当院では腫瘍の摘出率の向上は当然ですが、手術による合併症をださないことを第一に考え手術を行っています。

当院では、高精細・高倍率が可能な手術顕微鏡、神経モニターリング、手術ナビゲーション、4K神経内視鏡を常備しており、常時、安全な手術が可能となっております。



KINEVO 900

高精細・高倍率で4K3D、特殊光観察機能など、最新の脳外科の手術顕微鏡に必要な機能を持っています。



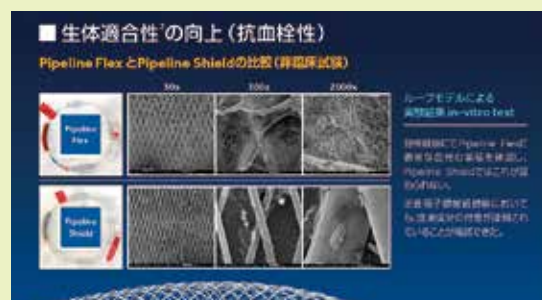
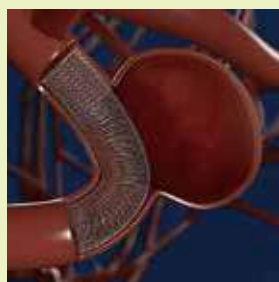
フローダイバーターシステムによる 脳動脈瘤の治療を始めました

フローダイバーターシステムとは、脳動脈瘤に対する比較的新しい治療法で、非常に網目の細かい金属メッシュのステントを脳動脈瘤の入り口を覆うように血管の中に留置し、脳動脈瘤内への血液流入を減らすことで、脳動脈瘤内の血液を血栓化させ、脳動脈瘤そのものを縮小させてしまう治療法です。

従来のステントと異なり、5ミリ以上の大きな脳動脈瘤に対して使用できるようになったのが、このフローダイバーターシステムの大きな特徴で、高知県では限られた施設でのみ実施しております。



第一脳神経外科部副部長
松下 展久



大腸がん 子宮頸がん

女性内視鏡外来ははじめました

**大腸がん、子宮頸がんは
早期治療開始により完治が期待できます。
このためには早期発見が重要!!**

消化器内科 医師 重久 友理子

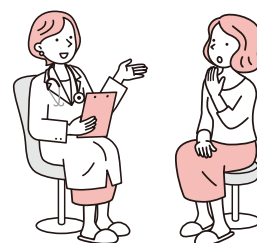
早期発見には症状のないうちから定期的に検診を受けることが重要!

当院では女性にとって心理的にハードルが高く敬遠されがちな大腸がん、子宮頸がんの検診を少しでも女性に受け入れてもらうために女性内視鏡医による専門外来を開設しました。スタッフも全員女性ですので、検査時の苦痛軽減と精神面への配慮を目指します。

（私たちが検査いたします!）



診療時間	外来：第1・3・5週 金曜日 15:00～16:00
	検査：第2・4週 火曜日 14:00～15:00
料 金	子宮頸がん内視鏡検診 7,700円(税込)
	大腸・子宮頸がんセット内視鏡検診 22,000円(税込)
予約窓口	内科外来 088-822-1201 (代表) 平日 8:30～17:00 外来受診時に検査日を予約します。検査内容も受診時にご説明します。



『認定集中治療関連臨床工学技士』を取得して

私たち臨床工学技士は、医療機器の専門医療職として院内で医師・看護師・コメディカルと連携し、生命維持管理装置の操作や医療機器の保守点検業務を行っています。代表的な業務としては、血液浄化業務・人工呼吸器業務・人工心肺業務・心血管

カテーテル業務・手術室業務・集中治療室業務・高気圧酸素業務・医療機器管理業務などがあります。

このように各分野で働いている訳ですが、例えば看護師に各分野での『専門看護師』『認定看護師』資格があるように、私たち臨床工学技士に



もそれぞれの認定資格が存在します。母体学会である『日本臨床工学技士会』の資格でも10種、それ以外の学会での資格も含めれば、取得出来る資格はその倍以上はあります。そして今回私は、その中の一つである『認定集中治療関連臨床工学技士』という資格を取得しました。

昨今のタスクシフト・シェアに伴う業務拡大で注視されている臨床工学技士業務の一つに、集中治療室業務が挙げられます。一括りに集中治療室業務と言っても業務範囲は広く、CHDFを始めとする血液浄化やアフレスス、ECMOなどの補助循環や人工呼吸器、さらには生体情報モニタ関連といった業務まで含まれます。正に臨床工学技士の業務が集約され、それらスキルを最大限に活かす事の出来る分野といえます。私自身も、そこで病院に貢献できればと思います、今回の資格取得を目指すに至りました。

新型コロナウイルス感染拡大を受け診療報酬が改訂され、特定集中治療室等における重症患者対応に係る



認定集中治療関連臨床工学技士
坂本 真一

体制を確保している場合の評価として、『重症患者対応体制強化加算』というものが新設されました。その加算を取る為の条件の一つに『救命救急入院料または特定集中治療室管理料の届出をしている施設で5年以上勤務した臨床工学技士が、専従として1名以上常勤している』というものがあります。今回の資格はその実績を積むために必要となってくるものになります。また、そのような臨床工学技士を育成する立場となる『集中治療専門臨床工学技士』になるために必須となる資格でもあります。

将来の当院での集中治療室業務拡充を見据え、今回の資格取得で得た知識・情報をスタッフ間で共有し、全体として集中治療業務に強くなれるよう取り組んでいきたいと思っています。

また、将来的には『集中治療専門臨床工学技士』も目指したいと考えています。

せん妄認知症ケアチームの活動紹介

看護部 井上 和代

せん妄認知症ケアチームは、①せん妄・認知症症状への早期発見・早期対応を行い、せん妄の重症化、認知症症状の悪化を防ぐために活動しています。

活動内容

- ①チームラウンドによるコンサルテーション及び介入
- ②認知症ケアに関する看護計画を作成し、実施・評価
- ③院内研修を開催しせん妄・認知症に関する治療の教育的支援

【認知症ラウンド】 毎週火・水曜

《対象患者》

- 認知症BPSD(心理行動症状)などで相談のある患者
- 認知症高齢者日常生活自立度Ⅲ以上の患者

《活動内容》

- チームラウンドによるコンサルテーション及び介入

【せん妄ラウンド】 毎週水曜

《対象患者》

- せん妄患者、精神症状で相談のある患者
- 3日以内に救急搬送された精神症状を有する患者
- 救命救急に入院している自殺企図患者

《活動内容》

- チームラウンドによるコンサルテーション及び介入

急性期病院のせん妄は、痛みときちんとコントロールする、睡眠覚醒リズムを整える、安心できる声かけがとても大事で、チームで支えていきたいと思っています。

認知症ラウンド



せん妄ラウンド



新人研修

「感染対策のき・ほ・ん ～接触予防策と敗血症について～」

8月18日「感染対策のき・ほ・ん～接触予防策と敗血症について～」の研修で、院内感染の原因菌となる細菌が検出されたときの対策の実際を実践的に学びました！

感想.....

- 自分たちが感染の媒介にならないように適切な方法、手順を意識してケアしていきたい
- 血液培養を実際に経験できてよかったです
- おむつ交換も実際に試してみることができていないことを見つけたり振り返ることができました
- 今回学んだ感染予防策を病棟に帰っても徹底して行って感染拡大しないようにしたいです

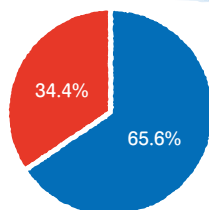


新入職員 リフレッシュ研修に 行ってきました

看護師30名、事務職1名の計31名の新入職員が参加、香美市青少年の家、香北体育センターでリフレッシュしてきました。しっぽとりゲーム、バレーボールで身体を動かし、その後、火を起こして飯盒炊飯やカレーを作りました。自分で作って外で食べるカレーは格別おいしかったです。その後、伝達ゲームや協力ゲームで協力しながらゲームを楽しみました。

1. 研修を通じてリフレッシュできましたか？

- よくできた
- できた
- あまりできなかった
- できなかった



その理由を教えてください

- 運動してご飯を自分たちで作って達成感があったからです
- 普段の勤務とは違う体の動かし方ができてよかった！
- 仲間と楽しく話したり、協力出来て楽しかったです！
- 仕事ばかりで正直疲労が溜まっていたけど今回楽しく研修ができてよかった

2. 研修を終えて今の気持ちはどうですか？

- 明日から頑張ろうと思えました
- 他の病棟の同期とも交流することができて良かった
- 楽しかった。みんなと一緒に頑張ろうと思った。
- とてもリフレッシュできました

3. これからに向けて思っていることを教えてください

- 悩みや困ったことを相談できる同期と、これから頑張っていきたい。
- 毎日少しずつ成長できているはずなので、これからたくさん吸収していきたい。
- 不安がたくさんあったり、しんどいこともありますけど、また楽しみなことを目標に頑張っていきたいと思います。
- 仲間がいるということを実感できたので、みんなで協力して頑張りたいです。



院内災害対策訓練に参加して

医療事業・広報課 中平 秀行

9月16日(土)院内災害対策訓練を実施しました。例年の訓練では、多数傷病者の受入をメインに行っておりますが、今回の訓練では、傷病者を受入れるまでの各部署での初動の確認をメインにし、災害対策本部の立

ち上げ、傷病者の受入れを行いました。当院では災害時に各部署で職員が統一した動きができるよう「アクションカード」を作成しています。今回はその「アクションカード」を基に、自部署で行動してもらい訓練後、検

証し修正を行い、災害に備えます。

初動の確認が終了したら、傷病者の受入れができるよう各エリアを立ち上げます。

トリアージエリアから重症患者の赤エリア、中等症患者の黄エリア、軽症患者の緑エリアなどいろいろなエリアを開設し、傷病者を受入れます。職員はマニュアルで決められたエリアに配置され活動を行います。9月とはいえ、まだまだ外は暑く、訓練に参加した職員は大変だったと思います。

訓練の最後には非常食の試食もあり、参加者は美味しくいただきました。

毎回訓練を実施するたびにいろいろな課題がでます。解決が困難な課題も出てきますが、少しずつでも課題を解決し、南海トラフ地震に備えていけるよう、今後も訓練、研修を重ねていきたいと思っています。



トリアージエリア



黄エリア



赤エリア



災害対策本部



帰宅困難者待機エリア



黒エリア



緑エリア



非常食の試食

防災season^{シーズン}

～当院の防災の取り組みや考え方を紹介します～

No. 7

リハビリテーション科 徳弘 健

「防災は 日頃の備えの 積み重ね」

みなさん、「防災」に対する準備は出来ていますか？

現在、各地での地震や気候変動に伴う豪雨など災害発生のニュースを多く耳にするような気がします。南海トラフ地震も、今後30年以内に発生する確率が「70～80%」と発表されており、防災に対する準備が必要です。

私自身も当院の防災ワーキングメンバー・救護員となり「院内防災訓練」や救護班としての「心のケア」「救護主事研修」を学ぶ機会があり、多くの経験をさせて頂いています。

救護員では「救護主事」が主な役割であり、クロノロジー（時系列活動記録）の重要性や、いかに確認作業をしながら簡潔・正確に情報伝達をする必要性があります。

また災害時、当科スタッフは「別棟1階の食料・薬剤を3階まで運ぶ」ことや、エリア開設時「各エリアでの主事業務」に加え、トリアージエリアでの「傷病者の移動（担架で2階まで移動など）」といった力仕事を担います。



心のケア

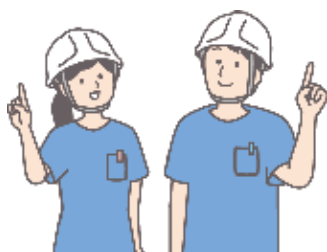


救護主事研修

多くの傷病者の命を助けるため、毎年開催される「トリアージ研修」や「院内防災訓練（2月・9月）」に出来るだけ参加し、日頃からの準備を一緒にしませんか？



院内防災訓練（トリアージエリア）担架で2階に上がっている風景



CAFE CROSS

★ 研修医一年目のご紹介 ★

RESIDENT INFORMATION



はまなか ほのか
濱中 穂乃詩 (高知大学卒)

医師を志したきっかけは？

無医地区に暮らしていて公共交通機関も使うことが難しい祖母が、当たり前前に医療機関にかかることが出来ない姿を小さい頃から見ていて、こういった人たちの役に立てる地域で働く医師になりたいと思ったことがきっかけです。



これが好き♡

ピアノを習っていた時があって、また弾きたいなあと思い至って…最近思い切って電子ピアノを買って、ピアノを弾くのがマイブームです。



私、スゴインです♪

これといったすごい点を思いつくことが出来なかったのですが、声がよく通るので飲食店などで私が店員さんを呼ぶと、大抵の場合一回で店員さんが来てくれます。笑い声もよく響くので、遠くからでも聞こえると言われることが多くて、少し控えなければと思っております(汗)



研修への意気込みをひとこと★

患者様やご家族、スタッフの方々、先生方からたくさんのことを学ばせて頂き、毎日充実しています。謙虚な姿勢を忘れずに、一つ一つの症例から最大限のことを学ぼうという気持ちとやる気を持って研修に励みたいと思っています。



はやし かなほ (高知大学卒)

医師を志したきっかけは？

小さい頃通っていた小児科の先生に憧れたことがきっかけです。先生が言ってくれた「常に努力し続けることが大事だよ」という言葉が今も印象に残っています。



これが好き♡

動物が好きで、休みの日には動物園に行ったりしています。最近のはのいち動物園のナイトZOOに行ってきました！夜の動物たちは昼よりも活動的でとても楽しかったです。



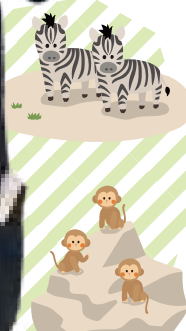
私、スゴインです♪

大学時代野球部のマネージャーをしていたのでスコアを書くことが出来ます。今年は阪神がリーグ優勝したので嬉しいです！



研修への意気込みをひとこと★

日々学び、たくさんの事を吸収して、早く高知県の医療に貢献できるようになりたいです。頑張りますのでよろしくお願いいたします。



「境界層該当措置」を知っていますか？

国保加入者で、前年収入で課税世帯になっている方が、本来の医療費や介護保険料などの費用を払うとたちまち生活保護になるような場合、自己負担限度額を非課税世帯扱いに引き下げることで保護にならずに医療費の軽減や保険料の免除が図られる制度です。

まずは、各福祉事務所に相談してみてください。

いったん生活保護の申請をしますが、却下される代わりに「境界層該当証明」が発行され、それに基づき各市町村国保が自己負担限度額や介護保険料の減免をします。

*なお、預貯金等も影響してくるので、まずは世帯の収入がわかるもの（給与明細や通帳など）を持って相談に行ってみてください。

例：国保加入者で、課税世帯（自己負担限度額：区分Ⅰ*）のがん患者さん。病気になるまで仕事をしていたが今年がんが見つかる。今まで何とか預貯金を切り崩して医療費や保険料を支払ってきたが、これ以上支払いは無理と治療をあきらめかけていたが、境界層該当となる。

自己負担額区分Ⅰ*（月57,600円）→区分Ⅲ（35,400円）への変更

福祉事務所は敷居が高くてちょっと…と思われる方は、医療相談室へお気軽に声をおかけください。



2階 医療相談室
医療ソーシャルワーカー 谷内

がん相談支援センターのご案内

当院には患者さんだけでなく、どなたでも無料・匿名で利用できる相談窓口があります。がんについてのさまざまなご相談を、専門相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士）がお受けいたします。直接お越しいただいてのご相談、お電話によるご相談に対応しますのでお気軽にご相談ください。

相談時間：月～金曜日 9時～16時（祝日、年末年始を除く）

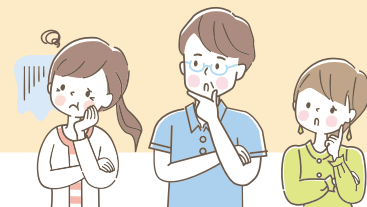
相談方法：下記に「がん相談です」とお伝えください。

対面相談 1階「インフォメーション」または 2階「医療相談室」まで

電話相談 088-822-1201（病院代表）

※秘密厳守で対応しております。

※医師に代わって治療の判断をすることはありません。



例えば、このようなことが相談できます。

- セカンドオピニオンを受けたいけど？
- 医療費や仕事のことが心配
- 症状への対処法
- 誰かに不安な気持ちを聞いてほしい
- ずっと家で過ごしていきたいけど介護保険とは？
- 緩和ケアを勧められたが…
- 先生に聞きたいことが聞けない など



医療相談室

医療公開講座



脳神経外科
溝渕佳史 医師



泌尿器科
奈路田拓史 医師



高知赤十字病院は高知新聞企業と共催で9月9日(土)、県民文化ホールにて医療公開講座を開催しました。

87名のご参加があり、脳神経外科溝渕医師から「脳ドックのススメ」、泌尿器科奈路田医師から「腎臓がんのおはなし」と病気や最新の治療についてお話をさせていただきました。アンケートでもわかりやすかったと好評でした。

多くの方のご参加ありがとうございました。

参加者の感想より



- 動画や写真を使ってくださったので分かりやすかったです。脳卒中や脳腫瘍の手術のこともわかったので、家族にも脳ドックをすすめてみようと思いました。
- 腎臓がんについて詳しく分かりました。特徴や症状など症例を示されよく分かりました。
- すばらしい内容なので、たくさんの人に聞いてほしいです。
- 場所、時間とてもよかったです。わかりやすく見たことのない映像も見れてとてもよかったです。気持ち悪くならない自分にびっくりしました。それほど夢中になれた時間であつという間でした。ありがとうございました。また色々な科のお話をききたいです。

一般社団法人日本損害保険協会寄付金による 2023年度交通災害等救急医療機器整備事業が完了



この度、2023年度の日本損害保険協会の寄付金により、移動型デジタルX線撮影装置を整備することができました。

これにより、交通事故をはじめとする救急医療体制を強化することができます。



高知赤十字病院
ホームページ



<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/>

高知赤十字病院
Facebook



<https://www.facebook.com/krch.kouhou/>

よろしければ
フォロワー登録
お願いします



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。

本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201 (代表))

